

【報告 3】**専門委員会の開催状況について****1 大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会について****(1) 付託事項**

大会テーマ、シンボルマーク及びポスター原画の募集及び審査・選定に関すること

(2) 会議の開催状況**○第 1 回会議（大会テーマを審査）**

開催日 平成 28 年 11 月 14 日

内容等 事前に一次審査、二次審査を行い、63 点に絞り込んだ上で、三次審査として会議を実施。別紙のとおり最優秀賞及び優秀賞 3 点を選定した。

○第 2 回会議（マスコットキャラクター及びその愛称を審査）

開催日 平成 29 年 3 月 21 日

内容等 事前に一次審査、二次審査を行い、13 点に絞り込んだ上で、三次審査として会議を実施。最優秀賞及び優秀賞 3 点の案を選定した。現在、著作権等の調査を実施中。

(3) 会議に至るまでの経緯

【大会テーマ】

○一次審査 対象：899点→結果：899点

明らかに審査基準を逸脱している作品を除外する審査を委員長が実施。その結果、除外作品なし。

○二次審査 対象：899点→結果：63点

委員に応募作品一覧を送付し、各委員10点選出。

○三次審査（第1回会議） 対象：63点→結果：4点

第1回会議を実施し、最優秀賞1点、優秀賞3点を選定

【マスコットキャラクター及びその愛称】

○一次審査 対象：855点→結果：846点

明らかに審査基準を逸脱している作品を除外する審査を委員長が実施。その結果、募集を行った内容である愛称の記載がなかった9作品を除外した。

○二次審査 対象：846点→結果：13点

委員に応募作品一覧を送付し、各委員2点選出。

○三次審査（第2回会議） 対象：13点→結果：4点

第2回会議を実施し、最優秀賞1点、優秀賞3点の案を選定

最優秀賞（大会テーマ）及び優秀賞について

（１）最優秀賞（大会テーマ）

内容	木に託す もり・まち・人の あす・未来
作品への 想い	<ul style="list-style-type: none"> ・開催理念である「森林づくり」、「都市づくり」を進めることは、そこに住む「人づくり」にも通じることである。 ・今回の植樹祭で植える木から「森林をつくり」、「都市をつくり」、「人をつくる」ことで明るい明日や未来をつくっていきたい。
受賞者	<small>おおいだ ゆうさく</small> 大井田 雄策氏（東京都大田区）

（２）優秀賞

内容	緑で築く、未来の森林と都市づくり
受賞者	<small>さいとう よしひろ</small> 齋藤 慶寛氏（東京都文京区）

内容	きらめく緑 人・未来
受賞者	<small>かねた のりこ</small> 金田 則子氏（群馬県高崎市）

内容	響きあう まちと森 活かしあう 人との
受賞者	<small>はまだ のりか</small> 濱田 典佳氏（富山県黒部市）

※表彰について

入賞者については、平成29年5月に実施する愛知県植樹祭において表彰を行う予定。また、最優秀賞受賞者は、第70回全国植樹祭の式典において表彰する予定。

2 式典演出専門委員会について

(1) 付託事項

式典行事の演出・内容等の決定に関すること。

(2) 会議の開催状況

○第1回会議

開催日 平成28年11月11日

内容等 式典演出構成について検討を行った。

○第2回会議

開催日 平成29年1月23日

内容等 第1回会議を踏まえた式典演出構成について審議を行った。

詳細は別紙「式典演出専門委員会第2回会議の結果について」のとおり。

式典演出専門委員会第2回会議の結果について

○式典演出計画について

式典の構成は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容/演出
プロローグ	—「過去」の誇り— “あいち 木 と ものづくりヒスト リー”	○愛知県の豊かな自然や愛知県が誇るものづ くりの技術、伝統文化、農林水産業等を紹介 ○「木材を利用する技術」から発展した愛知 のものづくりの歴史を表現
記念式典	—「いま」の思い— もり まち 森林と都市をつなぐ “木に託す言の葉の 大樹メッセージ”	○天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、 緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開 催県へのリレーセレモニー等 ○成熟したもり森林を伐採・利用し、植樹をして 「もり森林づくり」や「まち都市づくり」を進めてい くことの重要性を表現し、全国に発信
エピローグ	—「未来」への誓い— 未来に向けたもり森林と まち都市の“架け橋”を創 る木づかいへの誓い	○木づかいによる「まち都市づくり」の未来を、 若い世代が祝祭感豊かに表現

※第70回全国植樹祭開催理念

「私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、健全で活力の
ある「もり森林づくり」と「まち都市づくり」を進めていきます。」

3 植樹樹種専門委員会について

(1) 付託事項

○植樹行事における会場及び樹種の選定に関すること。

(2) 会議の開催状況

○第1回会議

開催日 平成28年7月21日(木)

内 容 天皇皇后両陛下のお手^{てう}植え・お手^{てま}播き樹種、一般招待者の植樹のコンセプト及び植樹樹種、植樹会場について検討を行った。

○第2回会議

開催日 平成28年8月23日(火)

内 容 天皇皇后両陛下のお手^{てう}植え・お手^{てま}播き樹種、一般招待者の植樹のコンセプト及び植樹樹種、植樹会場について審議を行った。

詳細は別紙「植樹樹種専門委員会第2回会議の結果について」のとおり。

植樹樹種専門委員会第2回会議の結果について

1 両陛下お手植え、お手播き樹種について

○両陛下のお手植え、お手播き樹種は、愛知県にゆかりのある樹種から候補樹種を選定。※候補樹種については別表1参照

2 一般招待者植樹のコンセプトについて

○第70回全国植樹祭の開催理念である、「私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。」に基づき、有用広葉樹や多種多様な樹種を植栽し、人と自然が織りなす里山林を創出する。

○この地域に生育している樹種で、原則として現在愛知県内で生育している樹木から採取した種子等から育成した苗木を植樹する。

3 一般招待者の植樹樹種について

○一般招待者の植樹樹種については、この地域に生育する樹種の中から候補樹種を選定。※候補樹種については別表1参照

4 植樹会場について

○植樹会場については、図1の3箇所を「植樹会場候補地」として選定。

お手植え、お手播き樹種及び一般招待者の植樹樹種の候補について

1 両陛下お手植え樹種候補（6種）

天皇陛下	スギ（あいちニコ杉）  県の林業を支える樹種 （少花粉スギ）	クスノキ  名古屋市、尾張旭市の木	フモトミズナラ  東海丘陵要素植物
	皇后陛下	シデコブシ  東海丘陵要素植物	ヒトツバタゴ  東海丘陵要素植物

2 両陛下お手播き樹種候補（4種）

天皇陛下		皇后陛下	
ヒノキ  県の林業を支える樹種	アベマキ  県の自然林を 代表する樹種	ハナノキ  県の木 （東海丘陵要素植物）	マメナシ  東海丘陵要素植物

※東海丘陵要素植物：愛知県を中心に、三重県から静岡県等伊勢湾をとりまく地域に生育する主に固有（分布が数地点に限定）または準固有（分布が地域的に限定）の植物をいう。

3 一般招待者の植樹樹種候補（33種）

区分		種数	樹種名
高木	落葉	15	アベマキ、コナラ、フモトミズナラ、エノキ、ムクギ、エトヒガンシ、ウリスギザクラ、ヤマザクラ、アズキナシ、イロハモジ、エゴノキ、シデコブシ、ハナノキ、ヒトツバタゴ、サクラバハシ
	常緑	9	アラカシ、シラカシ、ツブラジイ、クスノキ、ヤブツバキ、モチノキ、クマガネチ、ヤマモモ、ソコ
低木	落葉	6	マンサク、コハナミツバツツジ、ムラサキシブ、コハナガマズミ、ガマズミ、タニウツギ
	常緑	3	アオキ、アセビ、ヤシヤシボ

4 木材利用専門委員会について

(1) 付託事項

式典会場等の木材利用方法に関すること。

(2) 会議の開催状況

○第1回会議

開催日 平成28年12月12日(月)

内容等 式典会場等での県産木材の利用計画について検討を行った。

【全国植樹祭会場等における県産木材利用計画一覧表】

NO	施設名
1	新案内所
2	お野立所
3	特別招待者席
4	招待者歓迎入場ゲート装飾
5	三旗掲揚塔
6	進行台、シンボル台
7	御机、お手播き箱、鍬、枘等
8	椅子(特別招待者)
9	椅子(一般招待者)
10	プランター
11	式典会場及びおもてなし広場等の装飾等
12	その他